

つくば市議会だより

SUKUBA-28

議会をもっと知りたくなる情報紙

6月定例会 No.167

令和3年(2021年)8月1日発行
発行：つくば市議会
編集：広報広聴委員会

一般質問	P 2~6
委員会審査	P 7
委員会審査・議案等審議	P 8
賛否・議決結果	P 9
特集	P 10

更なる安全・安心な新型コロナウイルスワクチンの接種体制を求める決議 を可決！

決議全文はこちら



新型コロナウイルスワクチン集団接種の様子

現在、市では新型コロナウイルスワクチンの接種を行っていますが、社会的に孤立しがちな高齢者への接種について、地域での声掛けや福祉・医療関係者などをはじめとする支援強化により、希望する方が安心して円滑に接種を受けられるよう特段の配慮をすること、先の接種予約などの課題を教訓とし、より万全な体制をとることで、ワクチン接種を希望する全ての方々の接種が無事に終了するまで、さらなる安心・安全な新型コロナウイルスワクチンの接種体制を市に求めました。

高エネ研南側未利用地利活用に関する提言書 を市に提出！

提言書全文はこちら



令和3年6月25日に本会議において、高エネ研南側未利用地に関する調査特別委員会から中間報告がなされ、同日、提言書を市に提出しました。

▶ 提言書 (一部抜粋) は **6ページ**

令和2年度議会報告会 への質問に回答 します！

回答はこちら



令和3年2月1日から14日までにいただいた質問へ回答いたします。

▶ 要約版は **10ページ**



つくば市議会チャンネル
YouTubeで動画を配信しています



▶つくば市議会チャンネル

チャンネル登録
お願いします

6月定例会ハイライト

9月定例会開催予定

一般質問

19名の議員が白熱の議論を展開

議案審議

議案など28件、請願4件、意見書案2件、決議案1件を審議

- 9月3日(金) 開会
- 10日(金) 一般質問
- 13日(月) 一般質問
- 14日(火) 一般質問・総括質疑・予算決算委員会
- 16日(木) 予算決算委員会(総務)・総務委員会
- 17日(金) 予算決算委員会(文教福祉)・文教福祉委員会
- 21日(火) 予算決算委員会(市民経済)・市民経済委員会
- 22日(水) 予算決算委員会(都市建設)・都市建設委員会
- 28日(火) 予算決算委員会
- 10月1日(金) 討論・採決・閉会

▶9月定例会スケジュール



牛久沼



つくば市議会だよりが
スマートフォンで読めます



マチャイロ



木村 修寿 議員

自民党政清クラブ



新設校の就学区域について

【質問】 今後どのように進めていくのか伺います。

【答弁】 新設校の通学区域については、昨年度末の学区審議会から答申を受け、各学校の保護者や地域住民から広く意見を伺うため、今年度中に説明会を開催する予定です。説明会の実施に当たっては、新型コロナウイルス感染症の拡大予防を考慮し、事前申込制での人数を制限した対面式にし、動画配信も行います。併せて、質問をメールで受け付け、後ほどホームページ上

で回答を公開します。
【質問】 学区審議会の諮問から答申で通学区域が変更となった地区はあるのか伺います。

【答弁】 今回、学区審議会の審議過程において、(仮称)みどりの南小・中学校の通学区域については、諮問に対し、多くの保護者や地域住民から頂いた御意見、御要望を考慮し、答申では、みどりの中央地区が分割することなく、全てみどりの学園義務教育学校の通学区域とすることが望ましいとされました。

た。なお、(仮称)香取台地区小学校および(仮称)研究学園小・中学校の通学区域については、諮問のとおり設定することが望ましいと答申をいただいています。

【要望】 児童生徒や保護者にとつて、通学区域が変わることによる影響は大きなものがあると思えます。不安を少しでも軽減していくためにも、地域住民や保護者などに丁寧な説明を行うとともに、良好な教育環境が確保されますよう要望します。

このほか、公立保育所の施設改善、農業委員の選考基準、自主防災組織について質問しました。



川久保 皆実 議員

つくばチェンジ チャレンジ



児童クラブ、お弁当注文への第一歩！

【質問】 公設公営児童クラブの運営に関し、①小学校の長期休み期間中にお弁当を注文できる仕組み作り、②おやつ提供方法、③クラブ終了時刻の現状および今後の方針を伺います。

【答弁】 ①今年度の夏休みに向け、対応可能な弁当業者把握のためのアンケート調査を実施し、調査結果を集計しており、7月上旬を目途に、配達可能な児童クラブの保護者へ弁当業者一覧表などを作成し周知する予定です。今後は、夏休み期間中の弁

当発注の実施状況を踏まえ、保護者、弁当業者、児童クラブ職員との視点から課題などを分析し、3者に負担のない仕組み作りを目指したいです。オンラインによる弁当発注システム導入も、他自治体の取り組み事例を調査し、検討したいと思えます。

② 公設公営児童クラブ27施設のうち、保護者会提供のクラブが4施設、保護者持参のクラブが19施設、児童持参のクラブが1施設、おやつがないクラブが2施設、委託事業者提供のクラブが

1施設です。より良いおやつ提供方法の研究のため、8月末までに保護者へニーズ調査を行う予定です。③27施設のうち19時までが19施設、18時30分までが8施設です。終了時刻検討のため、8月末までに、18時30分終了の児童クラブの保護者へ利用時間に関するニーズ調査を行う予定です。

【要望】 ②③については、ニーズ調査の結果を踏まえ運営を改善することを要望します。
このほか、公立小学校の入学準備の負担軽減(算数セットの備品化など)、窓口センター・出張所での遠隔手話通訳について質問しました。



橋本 佳子 議員

日本共産党 つくば市議団



茎崎学校給食センターの今後は

【質問】 茎崎学校給食センターの廃止案については、パブリックコメントで、自校式が望ましいなどのいろいろな意見がありました。令和6年度まで修繕で対応するというのですが、老朽化の進む茎崎学校給食センターの改善は待たなしの課題です。今後の方針についてどのように検討されるのかお聞かせください。

【答弁】 これからの学校給食の在り方、市の児童生徒数の動向を考慮した給食施設整備の課題

や方向性を検討していく必要があると考えています。今年度開催する「つくば市学校給食の在り方懇談会」で多方面から意見を伺い、検討に生かします。茎崎学校給食センターについては、老朽化が著しく、長期の施設使用には耐えられないと認識しています。しかし、(仮称)新設学校給食センターが供用開始となる令和7年度までは、継続して稼働させる必要があるため、適宜修繕を行いながら、施設機能を維持、保全していきます。



茎崎学校給食センター

このほか、コロナ禍中の経済支援対策・定期的なPCR検査の実施・生用品配布・慰労金支給、新型コロナウイルスワクチン接種、スーパージェイ構想について質問しました。



山中 真弓 議員

日本共産党 つくば市議団



35人を超える学級に教員配置を

【質問】 特別支援学級に在籍する児童生徒が通常学級で交流学級を行う際、35人を超えて授業を行っている学校があります。交流学級とは何か、交流学級の際に35人を超える学校と学級数はいくつあるか、当該学級に市独自で教員を配置すべきと考えますが市の見解をお聞きます。

【答弁】 交流学級とは、特別支援学級在籍の児童生徒が、教科により通常学級で学習することです。通常学級の1学級の人数は、現在、1年生および2年生

のみ35人を基準としますが、交流学級の際に、基準を超える学級は市内で3校6学級あります。現在、市では県の学級編成基準を標準として学級編成を行っています。特別支援学級の児童生徒を含めて35人学級を編成することは、教員配置数が県基準の学級編成で配置するため、基準を超えて編成を行うために、学級担任を市費負担教職員として採用する必要があります。これは国や県からの財政支援はなく、市独自で財源を確保した上

で、任用や勤務条件、給与などの条例や規則も整備するなど課題が大きく、国や県への教員配置改善の要望を考えています。

【要望】 奈良県河合町では、町独自の施策で「原則として通常学級の生徒数に特別支援学級の生徒も含む」とし、令和3年度町独自で2名の講師を配置しています。後日、その予算が特別臨時交付金に振り返られたので、つくば市でも可能だと思えます。コロナ禍のリスクを減らすためにも早急な対応を要望します。
このほか、民間路線バスなどの高齢者運賃割引、児童発達支援センター、公立保育所、フリースクールについて質問しました。



小野 泰宏 議員

公明党つくば



データ・サイエンティストの育成を

【質問】 先の3月議会では「人口推計」が論点の一つになり、計画的な市政運営の観点から、質疑と提案をさせていただきま

【答弁】 市内における日常的な人口把握については、毎月1日付の住民基本台帳人口、行政区別人口、国籍別人口および年3回作成する行政区別年齢別人口を市内イントラネットに掲載し、

【質問】 市では2024年度までの第2次つくば市農業基本計画を策定し、市の特性を生かした農業の方向性を明確にし、発展させていくとあります。現状を踏まえた課題、今後の担い手確保、農地集積・集約の取り組みについて伺います。

【答弁】 市内における日常的な人口把握については、毎月1日付の住民基本台帳人口、行政区別人口、国籍別人口および年3回作成する行政区別年齢別人口を市内イントラネットに掲載し、



浜中 勝美 議員

公明党つくば



農業対策について

【質問】 市では2024年度までの第2次つくば市農業基本計画を策定し、市の特性を生かした農業の方向性を明確にし、発展させていくとあります。現状を踏まえた課題、今後の担い手確保、農地集積・集約の取り組みについて伺います。

【答弁】 市内における農業の課題については、農業者の減少や高齢化による担い手不足、また、それに伴う農地の利活用などがあります。こうした課題への対応の方向性を明確化するため、

【質問】 市では2024年度までの第2次つくば市農業基本計画を策定し、市の特性を生かした農業の方向性を明確にし、発展させていくとあります。現状を踏まえた課題、今後の担い手確保、農地集積・集約の取り組みについて伺います。

【答弁】 市内における農業の課題については、農業者の減少や高齢化による担い手不足、また、それに伴う農地の利活用などがあります。こうした課題への対応の方向性を明確化するため、



このほか、地球温暖化対策について質問しました。



木村 清隆 議員

清郷会



通学路の安全確保について

【質問】 平成24年度以降に児童生徒の死傷事故が全国で相次ぎ発生し、通学路における交通安全確保を目的とした、関係機関

【答弁】 平成27年3月につくば市通学路交通安全プログラムを作成し、随時改定しています。②プログラムに基づき、毎年各学校で関係機関の担当者、要望された危険箇所などを合同点検し、必要箇所可能な限り対策を講じています。点検結果や対策内容は、学校ごとの対策一覧表を公表し、関係者間で共有しています。③学校や幼稚園からの要望で、施設から半径約500以内の道路で設定し、表示しています。また、学校や住民からの要

【質問】 市では2024年度までの第2次つくば市農業基本計画を策定し、市の特性を生かした農業の方向性を明確にし、発展させていくとあります。現状を踏まえた課題、今後の担い手確保、農地集積・集約の取り組みについて伺います。

【答弁】 市内における農業の課題については、農業者の減少や高齢化による担い手不足、また、それに伴う農地の利活用などがあります。こうした課題への対応の方向性を明確化するため、



中村 重雄 議員

創生クラブ



市内商工業者への支援について

【質問】 新型コロナウイルスの感染拡大がまだまだ収まらない状況で、飲食店へさまざまな支援をされていますが、飲食店以外の業種への支援について伺います。また、昨年度実施したPayPay30%オフキャンペーンですが、市内多くの事業者や利用者から大変良かったとありましたが、今回の実績と今後の予定について伺います。

【答弁】 新型コロナウイルス感染症の影響を強く受ける飲食業以外への市独自支援については、

【質問】 市では2024年度までの第2次つくば市農業基本計画を策定し、市の特性を生かした農業の方向性を明確にし、発展させていくとあります。現状を踏まえた課題、今後の担い手確保、農地集積・集約の取り組みについて伺います。

【答弁】 市内における農業の課題については、農業者の減少や高齢化による担い手不足、また、それに伴う農地の利活用などがあります。こうした課題への対応の方向性を明確化するため、

望で、一定時間帯の通行禁止などの交通規制が、公安委員会の判断で実施されています。④国土交通省と警察庁の「安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン」に沿う自転車走行空間ネットワーク計画は、市で策定しておらず、つくば市未来構想のまちづくりの理念を基に、道路構造や利用状況を踏まえ、計画を策定する予定です。

【要望】 毎年の通学路安全点検対策で改善が進まない箇所の具体的な取り組みを要望します。

このほか、新型コロナウイルス株式会社と共同で実施したキャッシュレス決済利用促進事業、30%ポイントバックキャンペーンは、飲食店や小売店、生活関連サービス業など幅広い業種の約1200店舗において、総額約7億5000万円の利用があり、多くの市内中小企業や利用した市民から高い評価を得られました。地域経済活性化の原動力となる家計消費を喚起し、新しい生活様式にもつながる同種事業については、経済状況や国の臨時交付金の動向を踏まえ、事業の実施を検討していきます。

このほか、新型コロナウイルスワクチン接種について質問しました。



金子 和雄 議員

新社会党つくば



福島第一原発事故に関わる事項について

質問 長年にわたり原発は安全だ、絶対事故は起こさないと国民に伝えてきましたが、2011年3月11日の東北地方太平洋沖地震における津波の影響により福島第一原子力発電所で放射性物質の放出を伴った原子力事故が発生してしまいました。以下について伺います。①市内の放射能汚染土壌の処理の経過、②保管場所での管理手法、保管事例。

答弁 ①市内の全域および全ての子ども施設において汚染状

況調査を実施し、特措法の基準である毎時0.23マイクロシーベルト以上となった荖崎第二小学校および高崎中学校を除染実施区域として定め、除染を実施し、それぞれの敷地内の地中に汚染土壌を埋設保管しています。②埋設箇所をGPSで把握するとともに、空間放射線量率を年1回測定し、基準値内であることを確認しており、結果をホームページで公表しています。学校に対しては埋設箇所の地図を配布し、管理を行っています。荖崎第二小学

校および高崎中学校以外の小学校、幼稚園、保育所などでは、保護者が自主的な除染を実施しており、それを各施設の敷地59カ所に汚染土壌を埋設保管しています。管理は、荖崎第二小学校および高崎中学校と同様に行っています。生活環境部で毎年1回空間線量率を測っており、0.23マイクロシーベルト以下であることを確認しています。国や環境省などが検査に入ったことは今までありません。

このほか、新型コロナウイルス感染症対策、市民活動センターについて質問しました。



黒田 健祐 議員

つくば自民党・新しい風



コロナ禍における鬱・自殺対策について

質問 コロナ禍における鬱、自殺対策について現状と取り組みについて伺います。

答弁 令和2年度のつくば市自殺対策に関する連携会議で、市の自殺に関する現状や新型コロナウイルス感染症に関連する経済的な問題、生活様式の変化などから来る心の相談状況、医療従事者などへの差別偏見の状況などを情報共有しました。また、相談を受け必要な窓口へつなぐ仕組み作りの重要性、新型コロナウイルス感染症を正しく

理解した上で差別や偏見などをなくするための施策などについて意見交換をしました。その上で、新型コロナウイルス感染症拡大を防止するための生活様式などの変化に伴い、若者や女性を中心に増加するであろう自殺期と自殺未遂者に対するの対応を話し合いました。

連携会議の協議内容を踏まえ、相談者に寄り添いながら適切な関係機関につなぐために、庁内連携マニュアルを令和2年度に作成して各課に配布しました。

また、新型コロナウイルス感染症と心の健康に関する啓発チラシを作成し、広く市民に周知しています。自殺念慮のある方に周囲の人が気づき、傾聴し、適切な関係機関につなぐことが重要なので、市民や民生委員などのほか、市職員を対象にゲートキーパー養成講座を行い、令和元年度は580人、令和2年度は613人が受講しました。今後もゲートキーパー養成講座を実施するほか、連携会議では自殺未遂者への支援が優先順位の高い課題として挙げられるため、その対策を検討していきます。

このほか、防災対策、ヤングケアラーについて質問しました。



小村 正文 議員

創生クラブ



スタートアップの価値を教えてください！

質問 つくば駅周辺の中心市街地活性化に向けて、つくばまちなかデザイン株式会社設立し、期待が高まる中で、ベンチャー企業の出資金が少なくなっていることが明らかになりました。市としてスタートアップを一つの顔にしていこうと、スタートアップ推進によって企業当事者ではなく、市民目線でのような利点があると考えられるか伺います。

答弁 スタートアップ推進が市民にもたらす価値については、

つくばの大学や研究機関の研究成果を基に起業したスタートアップの製品やサービスによって、ほかの地域に先駆けて社会課題を解決することや、市民生活の利便性の向上が図れることなどであると考えています。特に、新型コロナウイルス感染症を含めて、社会が目まぐるしく変化する昨今、スタートアップの機動性の高さへの期待がますます高まっています。市では、現在スタートアップからの公共調達を促進するための新たな制

度を設けており、新製品や新サービスにより、より豊かに生活を送ることができるようになるとともに、スタートアップのビジネスが進展することで雇用や税収が生まれ、まちの持続的な成長につながっていくことを期待しています。

このほか、水道料金のキャッシュレス決済、人口推計と市内の高校について質問しました。



センタービルリニューアルについて

質問 センタービルのペデストリアンデッキから下のセンター広場へ降りるエスカレーター

の建設計画について、エレベーターがすでにあり、2階から建物内に入らず、わざわざ下へ降りて外から建物へ入る動線はあまり意味がなく、高齢者や妊娠中の方、障がいのある方にとってはむしろエスカレーターは危険です。また、磯崎新氏の代表作であるセンター広場を壊してまでエスカレーターを建設する必要があるのかについて

お伺いします。

答弁 エスカレーターについては、ペデストリアンデッキとセンター広場の移動を円滑化し、一体的な利用を促進するため設置を検討しています。今後、広場を有効活用していく中で、歩行者や来街者が広場のイベントに気軽に参加したり、歩行者が広場でくつろいだりといった利用を促進します。また、1階部分に公共施設や働く人を支援する場が整備されるので、それらの利用者の利便性向上も図れま

す。センタービルの改修については、エスカレーターの必要性などに関して、つくば中心市街地まちづくり調査特別委員会でもさまざまな意見をいただいていますので、対応方針については庁内でも調整し、委員会できちんと報告します。

このほか、新型コロナウイルススワクチン接種、(仮称)つくば市陸上競技場整備基本構想、名誉棄損に対する裁判について質問しました。



つくばセンター広場



かわむら なおこ 川村 直子 議員

つくば・市民ネットワーク



不登校の原因に向き合い、居場所の確保を

質問 2020年度、市の不登校児童生徒は399人で、年々増えています。教員との関係が不登校の理由である割合は、本人回答の調査では23%、学校の調査では2・2%で、このずれに対する認識と、この問題への対策について伺います。

回答 この結果を真摯に受け止める必要があると思っております。不登校になるまでに担任や学校がもっと助けてくれればという感情があったのではないかと、心に留めなければならぬ

質問 ①不登校の原因の一つと考えられる「読み書き困難」への支援、②昨年開始した民間と市の協働によるフリースクールの増設について伺います。

回答 ①2020年度より、特別支援教育推進室など学び推進課が一体となって対応しています。各学校にいる特別支援教

育コーディネーターを中心として養成しており、入学時に「読み書き困難」に該当する子どもを拾い上げ、対応を進めたいと思っております。②現在行っている支援状況の課題や成果を検証しているところなので、それを見極めて今後検討したいと考えています。

要望 校内での教室以外の居場所の充実、スクールカウンセラーと学校生活サポーターの増員についても要望します。

このほか、重度障害者の就労時介助員派遣の実現について質問しました。

*「読み書き困難」とは、知的にも、視覚や聴覚にも問題はないが、読み書きの能力に著しい困難を持つもの。



こもり さとる 小森谷 さやか 議員

つくば・市民ネットワーク



(仮称)みどりの南小・中学校の環境対策を!

質問 (仮称)みどりの南小・中学校は、当初の学校予定地近くに高圧鉄塔や工場があり、臭問題も指摘されたため場所が変更となりました。しかし、新たな用地でも隣接して常磐自動車道があり、騒音や大気汚染による子どもたちへの健康影響が心配です。真摯な対応が必要と考えますが、状況について伺います。

回答 (仮称)みどりの南小・中学校の設計に当たり、常磐自動車道の騒音測定を今月中に実

施し、結果を反映します。防音壁設置については、既にNEXCO東日本と情報交換を行っており、引き続き協議してまいります。排ガス、粉じんなどについては、常磐自動車道に隣接した守谷市中央図書館敷地内に県が観測局を設置し、二酸化窒素、一酸化炭素、浮遊粒子状物質の測定をしており、いずれの項目も環境基準以下です。この測定結果が環境基準を超えたことはなく、守谷と比較しつくばの常磐自動車道の交通量が少ないこ

と、自動車の環境対策性能の向上を考慮すると、現時点で市内に観測局を設置する必要はないと考えており、県の測定結果を注視してまいります。

質問 ゴルフ場の農薬飛散も心配です。対応を伺います。

回答 農薬名、使用方法、使用量などは情報提供を受けています。使用時間などは現在、ゴルフ場に確認中です。

要望 その他、安全な通学路の整備も併せて、しっかり対応いただくよう要望します。



あさの えくこ 阿佐の えくこ 議員

つくば・市民ネットワーク



大変!ごみの最終処分場がもうない

質問 行政報告のとおり、ごみを燃やした後の灰を埋め立てる「最終処分場」がなくなります。最終処分量の減量には全市民が取り組む必要がありますが、具体的な計画をお伺いします。

回答 減量につながる分別回収、資源化の取り組みとしては、電気式生ごみ処理機や段ボールコンポストなど処理容器の補助事業を実施しています。関連部署との連携を図るとともに、先進事例の調査研究を行い、公共施設へのポスター掲示により市

民への啓発を進めていきます。最終処分場の状況のお知らせを含め、家庭でできるごみ減量の取り組みについてまとめたつくば市かわら版を6月中旬に発行し、市民に配布することで広く周知を行う予定です。

質問 「つくば環境スタイルサポーターズ」への働きかけはメールマガジンの配信がメインですが、生ごみダイエットモニターや、各種団体や区会での減量説明などの具体的活動を始めるときではないでしょうか。



みながわ ゆきえ 皆川 幸枝 議員

つくば・市民ネットワーク



つくば駅周辺のバリアフリー対策を進めて!

質問 市内外から数多くの人が訪れるTXつくば駅周辺のバリアフリーを一刻も早く進めていくべきです。次の問題点についての見解・対応を伺います。①バスロータリーにバスのスロープが出せない箇所がある、②点字ブロックが途切れている、③多目的トイレ内にユニバーサルベッドが設置されていない。

回答 ①つくばセンターのバス乗り場は歩道と車道の間

15センチの段差があり、スロープを使用することで車いすの利用が可能だが、ロータリーのカーブ上にある乗り場ではスロープが届かないため、スロープが届かない場所につくバスを移動させ乗車しています。今後全ての方が安全に乗車できるよう協議してまいります。②センター広場の一部で点字ブロックの経路がエレベーターに対して最短でないところもあったが、以前行ったセンター広場再整備の際にもバリアフリーに配慮した設計を

回答 環境サポーターズが9600人いることは、市民の環境に対する問題意識の高さを示すと思いますが、一方的配信で終わっていることはきちんと受け止めたいと思えます。議員からは具体的に提言をいただき、減量に成功した自治体では、ごみ集積所などで頻繁に職員が声をかけるなど、市民を巻き込む形で行っており、職員だけではできないことが数多くある中で、環境サポーターズにも、共に具体的な行動をお願いしたいと思えます。取り組みの中でも、緊急事態であると皆さんに伝えながら活動することが重要かつ緊急であると感じています。

行っているのを、経緯を確認し対応を検討します。③多目的トイレ内の大人用のベッドについては、新たに整備、改修する際には、周辺の状況なども考慮しながら設置を検討してまいります。

質問 バリアフリーマスタープラン策定の進捗状況について伺います。

回答 先行事例の調査研究を行っているところです。今年度は、引き続き調査研究や準備を行い、令和5年度までの策定を目指してまいります。

要望 予備調査として、職員と当事者の方々と一緒に「まち歩き」の実施を要望します。

このほか、個人情報保護について質問しました。



塩田 尚 議員

山中八策の会



ヤングケアラーの実態とその対策について

質問 ヤングケアラーとはさまざまな理由で家庭の家事や介護に追われ学業や体調に悪影響が出ている18歳未満の子どもたちです。ヤングケアラーのほとんどが潜在化しているので、まずヤングケアラーを発見する環境を作ることが重要です。それから安心して話せる相手と場所を作り、さらに家庭でヤングケアラーが担っているケアの作業や責任を減らしていくためには、教職員・福祉関係者はじめ社会全体の意識を高め支援体制を作

ることが重要だと思いますが、市の取り組みについて伺います。
答弁 ヤングケアラーの実態把握については、虐待を受けている、経済的に困窮している、養育が不安な家庭であるなどの支援が必要な児童への相談の対応の中で、ヤングケアラーの視座をもって関わり、家庭の状況を把握しています。ヤングケアラーについては、本来守られるべき子ども自身の権利を侵害されているという重大な問題と認識しています。今後も相談支援

活動の中で、早期発見、適切な支援をし、ホームページや広報紙などで、ヤングケアラーについて掲載するなど啓発活動にも力を入れ、認知度を向上していきます。
また、ヤングケアラーの認識を教職員、保護者、児童生徒それぞれが高めることが必要だと考えています。併せて、子どもの表情や行動を注意深く観察するとともに、学力の低下や欠席日数の増加などを見逃さないといった教職員の気づきを高める研修や、問題を把握したときの対応について、研修を行っていきます。



山本 美和 議員

公明党つくば



HPVワクチンは「定期接種」

質問 ① HPVワクチンは小学6年生から高校1年生女子を対象とした定期接種です。市では、国・県からの通知を踏まえ、昨年度から個別通知(権利失効通知)を高校1年生女子に対して実施しています。接種の現状と取り組みについて伺います。
② 接種後の有害事象への診療体制、定期接種の機会(権利)を知らずに接種できなかった方に対する救済措置の考えについて伺います。

答弁 ① 市におけるHPVワ

クチンの接種人数は、平成30年度は22人で延べ接種件数は54件、令和元年度は83人で延べ189件、令和2年度は298人で延べ724件です。市では、令和2年6月に接種対象最終年である高校1年生に概要版リーフレットを同封した個人通知を行い、今後も継続してまいります。なお、小学6年生から中学3年生の対象者については、「ライプランすこやか」や市ホームページなどお知らせしています。② ワクチン接種後の体調に

異常が生じた場合には、接種を受けた医師などに相談するよう案内しています。また、症状が改善しない場合には、協力医療機関への受診を案内することにしていきます。積極的勧奨をしていない期間に接種ができなかった方への救済措置については、国や県の動向を見ながら対応していきたいと考えています。
要望 接種対象者全員への個別通知と接種機会を失った方への救済を要望します。
このほか、生物多様性地域戦略の策定、市民活動センターが直営になったことについて質問しました。

高エネ研南側未利用地利活用に関する提言書

(一部抜粋)

●基本的な方向性について

良好な市街地が周辺に存在し、公共施設や医療機関・研究所、商業施設が隣接する地域特性に配慮し、周辺環境へ影響を及ぼさないことを利活用の基本とすべきである。

提言書全文はこちら



●望ましい施設等について

社会情勢が大きく変化する中、地域ごとに知恵を出し合い、新たな地域資源を発掘することが必要である。その地域の価値を高め、つくば全域に活力を波及するものを目指すべきである。施設等については、以下の役割・機能を持った内容等を提案する。

- (1) 豊かな自然環境、幅広い分野の研究機関や人材の集積などの最先端の取組に代表されるつくばならではの資源・特性を十分いかせるもの
- (2) 市民ニーズに対応し、地域の活性化に貢献するもの
- (3) 東日本大震災等の教訓をいかし、市民が安全・安心に暮らせるまちを実現するため、災害に強いまちづくりに寄与するもの
- (4) 市民のコミュニティ形成に寄与するもの
- (5) 交通の利便性から観光や産業の振興に寄与するもの

●今後の取組について

他の都市にはない優れた資源等の優位性をいかしたまちづくりをすべきである。早急に整備方針を決定すべきだが、市の財政上の負担や人口急増地域の学校建設等優先度などを考慮し、整備方針の作成には、具体性・妥当性・有効性なども検討する必要がある。

市は、基本的な方向性に合致し、望ましい施設等を可能な限り実現する利活用方策を検討すること。ただし、過大な公共投資を抑制しつつ、より良いまちづくりを実現するため、必要なインフラは整備しながら、産官学の連携のもと、地域資源を活用した商品やサービスの開発、マーケティング・ブランディングなどを手掛ける担い手の育成・発掘などより広く民間の資本を誘導する観点を考慮することを望む。

また、事業者を活用する場合は、国や県も含め研究用地を希望する事業者や民間事業所等を募り、その応募状況や利活用の内容・選定には、議会および市民に十分に説明し、理解を図りながら進めるべきである。

以上のことを念頭に入れ、今後の取り組みを推進願いたい。



塚本 洋二 議員

自民党政清クラブ



廃棄物行政について

質問 市が発注する廃棄物収集運搬業務などに使用される車両について質問します。業務には家庭ごみの収集運搬や学校給食センターから出される残渣などの収集運搬業務などいくつかあります。使用される自動車のナンバーには白ナンバー(白ナンバー)と事業用車両(緑ナンバー)の2種類がありますが、市の業務でそれぞれの車両の業務範囲について伺います。

答弁 一般廃棄物の収集運搬業を行うためには、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に規定する許可が必要になります。同法の規定では、陸運局での緑ナンバーの取得が許可要件にはなっていますが、安全性を確保するため、市では独自に廃棄物の運搬は、許可の際に緑ナンバーの取得をお願いしており、家庭ごみ収集運搬業では、緑ナンバー取得済みであることを契約時の発注仕様書に記載しています。しかし、他の契約においては、発注仕様書にその旨の記載がなければ、白ナンバーの車

両が収集運搬業務を行うこともあります。
このように、車両ナンバーの色で市の廃棄物収集運搬業務の範囲を決めているものではありませんが、今後は、廃棄物収集運搬時のより一層の安全性を確保するため、市が発注する一般廃棄物の収集運搬業務には緑ナンバー取得済みであることを、発注仕様書で条件とするよう全庁的に周知します。
このほか、農業委員会委員の選考における委員の募集から任命までの流れ・地区別人数割について質問しました。

委員会審査

総務分科会

【議案第81号】令和3年度つくば市一般会計補正予算(第2号)

【質疑】総務費 ワークライフバランス推進に要する経費に關し議事録Aシステム導入によりどれくらい時間が短縮になっているか

【答弁】6月16日現在で35件以上の会議および打ち合わせに利用されている。利用した職員へのヒアリングでは、はじめから文字起こしをした場合に比べ、体感的に5、6割から9割以上の作業時間が削減されたとの回答があった。

総務委員会

【請願3第5号】水戸地方裁判所土浦支部における労働審判の実施を求める意見書を国に提出することを求める請願書

▼審査結果 採択すべき

【賛成討論】身近に起きることを土浦支部で行うことができるということは、安心につながると思うので採択すべきである。

文教福祉分科会

【議案第81号】令和3年度つくば市一般会計補正予算(第2号)

6月定例会にて、各常任委員会に付託された議案など28件を審査するため、委員会・分科会を開催しました。

議案詳細



【質疑】教育費 荖崎地区幼稚園移転改修設計委託の事業内容について

【答弁】高崎および岩崎幼稚園の施設が老朽化しているため、荖崎第三小学校西側校舎1、2階の空き教室を改修し、1階に3歳児教室と職員室を、2階に年中・年長の教室を配置する形で幼稚園として活用し、西側昇降口前からプールまでの間を園庭として整備する予定である。主な改修内容として、トイレの洋式化や各教室のエアコン整備、床の整備などを行い、園庭にフェンスによる囲いや遊具の設置を考えている。また、老朽化した荖崎第三小学校の廊下も併せて改修する。岩崎および高崎幼稚園の保護者、荖崎第三小学校のPTA役員には説明済みであり、6月26日には荖崎地区住民への説明を予定している。

文教福祉委員会

【議案第96号】財産の取得について

▼審査結果 可決すべき

【質疑】①学校の規模、②土地の単価について

【答弁】①学校の規模は、今年度土地を購入後に学区審議会や住民説明会を行って決定するため、現段階では決まっていない。②土地

市民経済委員会

【請願3第4号の1】新型コロナウイルス禍による米危機の改善を求める請願

▼審査結果 趣旨採択とすべき

【意見】在庫米が増え、米の値段が下がっていくことは現実に起きてくることで、米の値段を守っていくのは国や県や市でなければならぬ。請願事項3については、貿易問題の*ミニマムアクセス米のみに触れるということが釈然としない。日本の米をどう守っていくのかも含め、在庫米を減らす、日本の農業を支えるということも踏まえ、趣旨採択が妥当と考える。

都市建設分科会

【議案第81号】令和3年度つくば市一般会計補正予算(第2号)

【質疑】土木費 つくば中央インター北土地区画整理に要する経費に關しつくば中央インター北土地区画整理組合設立準備会補助金の増額理由について

【答弁】令和2年度末に補助対象事業の検査を実施した際、予定していた事業の一部が実施できなかった状況が確認されたため、令和3年度以降の事業計画を調整し、事業内容を組み替えた結果、当初予算に対し増額補正が必要となったためである。

都市建設委員会

【議案第92号】つくば市景観条例の一部を改正する条例について

▼審査結果 可決すべき

【質疑】つくば市景観審議会委員の選任に当たって、市民委員の枠を追加することに伴う委員定数の変更について

【答弁】委員定数は市民委員を含めて7人であり、委員定数の変更はない。

【請願3第3号】第6次エネルギー基本計画の改定に向けて国へ意見書提出を求める請願

▼審査結果 趣旨採択とすべき

【意見】今後、期待できる再生可能エネルギーとして洋上風力発電がある。太陽光発電についても設置コストが下がれば、さらに屋根への設置が進むと考える。エネルギーの技術革新やエネルギー転換を図るためには、国の方針を変えなければ難しいと考えるため採択すべきである。

【意見】太陽光発電や風力発電などの再生可能エネルギーについては、環境が適した場所であっても十分な発電が難しいという現状から、趣旨採択が望ましいと考える。

【賛成討論】第6次エネルギー基本計画策定中に意見書を提出したので、本請願に賛成したい。

広報広聴委員

Table with 2 columns: Position (委員長, 副委員長, 委員) and Name (黒田 健祐, 高野 文男, 小村 政文, 宮本 達也, 山中 真弓, 神谷 大蔵, 皆川 幸枝, 山本 美和)

傍聴される方へのお願い



- 必ずご自宅で検温をお願いします。発熱などの症状がある方や体調の優れない方は傍聴をご遠慮いただくようお願いします。
マスクの着用をお願いします。
傍聴受付の消毒液を活用してください。

▲ 当面の間、傍聴できる人数は、24名までとさせていただきます。

議会中継映像配信



- 本会議(定例会・臨時会)の開催時間は生中継をご覧ください。
本会議開催日ごとに、3日後(休日を除く)から録画映像を視聴することができます。
※ 委員会は配信していません。

☎ 議会事務局議会総務課 029-883-1111 (内線 6110・6120・6130)

予算決算

【議案第81号】 令和3年度つくば市一般会計補正予算(第2号)

▼審査結果 可決すべき

意見 敬老事業の敬老祝品贈呈委託料に関し、なぜ著とスプーンなのかというところに疑問がある。敬老福祉大会の中止に伴うものであるならば、敬老福祉大会の実行委員の方々と

うしていくかを考えていくべきである。

意見 コロナ禍において、敬老福祉大会を楽しみにされていた市民に対し、敬老の意をしっかりとこめてうれいと思ってもらえるものを渡せること自体は本心に気持ちのこもった配慮として大切である。

議案第81号に対する附帯決議を全会一致で可決しました。

提出者	議案第81号 附帯決議案	結果	採決
小野泰宏委員	1 コロナ禍の社会情勢に配慮して、あくまでも敬老福祉大会中止の代替事業として、華美にならず、かつ、敬老の意を表すものとする。 2 国等による障害者就労施設等からの物品等の調達の推進等に関する法律の趣旨にのっとり、市内障害者施設の受注機会を拡大できるよう、体制づくりに努めること。	可決	採決

* 附帯決議とは、委員会でも可決された案件に対し、事業を執行する上での要望や留意事項を述べるものです。

議案第81号に対し修正案が提出されました。

提出者	議案第81号 修正案	結果	採決
小森谷さやか委員 川村 直子 委員 あさのえくこ委員 皆川 幸枝 委員	民生費 敬老事業に要する経費 敬老祝品贈呈委託料の削除	否決	採決

議案等審議

【請願3第4号の1】 新型コロナ禍による米危機の改善を求める請願について

趣旨採択

反対討論 近年の米消費減少に加え、コロナ禍での販売不振、米価下落は底なしの状態である。現政権は主食を作る米農家への支援を削り、米の在庫が増えているにもかかわらず、ミニマムアクセス米の輸入を続けるなど、国内の農業を圧迫、衰退させる状況である。コロナ禍で外食産業の米消費が激減し、在庫が増加している今こそ、国の責任で米価への支援を行い、ミニマムアクセス米を中止することで国内農業を支えるべきである。よって、本案には賛成だが、趣旨採択では政府関係機関に意見書を届けることができないため、趣旨採択については反対である。

賛成討論 本年の米の生産農家を取り巻く環境は、請願の趣旨のとおり大変厳しい状況である。しかし、平成5年産米の凶作により起きた米騒動では、日本政府が米の安定供給を図るため、中国やアメリカなどから米を緊急輸入し、その後関税貿易一般協定(ガット) ウルグアイラウンド交渉によりミニマムア

クセス米を輸入することになったわけで、今年には米が余っているから輸入数量を減らすということ、他国との約束を破ることになり、今後米の凶作で米騒動が起きた場合、誰にも助けってもらえなくなってしまうのではないかと懸念される。米の安定供給を図る上で、ミニマムアクセス米の輸入数量抑制をするのではなく、開発途上地域に米を輸出するのがよいのではないかと

【請願3第4号の2】 新型コロナ禍による米危機の改善を求める請願について

趣旨採択

反対討論 3年連続の米価の暴落では、大規模農家でも米作りから撤退することにつながりかねないという危機感を持つ内容であった。主食の米を守るための提案はどれも納得いくもので、日本政府にはしっかりと食料支援制度について考えてもらいたいという趣旨と原案に対しては賛成の立場である。しかし、趣旨採択では政府関係機関に意見書を届けることができないため、趣旨採択については反対である。

案件名	請願事項
【請願3第4号の1】 新型コロナ禍による米危機の改善を求める請願	① コロナ禍で生まれた市場に滞留する在庫を政府が買い取るなどして市場から隔離し、需給環境を改善するとともに米価下落に歯止めをかけること。 ② 国内消費に必要な外国産米(ミニマムアクセス米)について、国産米の需給状況に応じて輸入数量抑制を直ちに実行すること。
【請願3第4号の2】 新型コロナ禍による米危機の改善を求める請願	コロナ禍などによる生活困難者・学生などへの食料支援制度を欧米並みに創設し、政府が支援すること。

**ミニマムアクセス米とは、日本が米の輸入制限を行う代わりに、最低限輸入しなくてはならない外国産米。

議長会表彰

この度、地方自治の発展と市政の振興に貢献された功績により、12名の議員が表彰を受けました。

全国市議会議長会

議員在職35年以上

茨城県市議会議長会

議員在職35年以上

久保谷 孝夫



金子 和雄



全国市議会議長会

議員在職20年以上

茨城県市議会議長会

議員在職20年以上

橋本 佳子



飯岡 宏之



全国市議会議長会

議員在職10年以上

ヘイス ジョン



小久保 貴史



神谷 大蔵



黒田 健祐



木村 修寿



木村 清隆



五頭 泰誠



皆川 幸枝



小久保 貴史



黒田 健祐



茨城県市議会議長会
議員在職8年以上

令和3年6月定例会議案等議決結果一覧

報告案件		案件名	議決結果		
【報告第5号】	令和2年度つくば市一般会計予算継続費繰越計算書について	【議案第96号】	財産の取得について	原案可決	
【報告第6号】	令和2年度つくば市一般会計予算繰越明許費繰越計算書について	【議案第97号】	財産の取得について	原案可決	
【報告第7号】	令和2年度つくば市水道事業会計予算繰越計算書及び令和2年度つくば市水道事業会計継続費繰越計算書について	【議案第98号】	つくば市戸籍法、住民基本台帳法、行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等関係手数料条例の一部を改正する条例について	原案可決	
【報告第8号】	令和2年度つくば市下水道事業会計予算繰越計算書及び令和2年度つくば市下水道事業会計継続費繰越計算書について	【議案第99号】	工事請負契約の締結について	原案可決	
【報告第9号】	つくば市土地開発公社の経営状況を説明する書類について	【議案第100号】	工事請負契約の締結について	原案可決	
【報告第10号】	専決処分事項の報告について	【議案第101号】	作岡財産区管理委員の選任について	同意	
【報告第11号】	専決処分事項の報告について	【議案第102号】	工事請負契約の締結について	原案可決	
【報告第12号】	専決処分事項の報告について	【議案第103号】	工事請負契約の締結について	原案可決	
【報告第13号】	専決処分事項の報告について	【議案第104号】	つくば市固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意	
案件名		議決結果	委員会提出議案	議決結果	
【承認第2号】	専決処分事項の承認を求めることについて(専決処分第8号)	承認	【委第3号議案】	つくば市議会会議規則の一部を改正する規則について	原案可決
【承認第3号】	専決処分事項の承認を求めることについて(専決処分第9号)	承認	【委第4号議案】	つくば市議会委員会条例の一部を改正する条例について	原案可決
案件名		議決結果	請願	議決結果	
【議案第81号】	令和3年度つくば市一般会計補正予算(第2号)	原案可決	【請願3第3号】	第6次エネルギー基本計画の改定に向けて国へ意見書提出を求める請願	趣旨採択
【議案第82号】	つくば市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	【請願3第4号-1】	新型コロナ禍による米危機の改善を求める請願	趣旨採択
【議案第83号】	つくば市固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例について	原案可決	【請願3第4号-2】	新型コロナ禍による米危機の改善を求める請願	趣旨採択
【議案第84号】	つくば市スポーツ推進審議会条例の一部を改正する条例について	原案可決	【請願3第5号】	水戸地方裁判所土浦支部における労働審判の実施を求める意見書を国に提出することを求める請願書	採択
【議案第85号】	つくば市税条例の一部を改正する条例について	原案可決	意見書・決議		議決結果
【議案第86号】	つくば市国民健康保険条例の一部を改正する条例について	原案可決	【意見書案第4号】	水戸地方裁判所土浦支部における労働審判の実施を求める意見書	原案可決
【議案第87号】	つくば市戸籍法、住民基本台帳法、行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等関係手数料条例の一部を改正する条例について	原案可決	【意見書案第5号】	トリチウム等を含む処理水の処分方法について再検討を求める意見書	否決
【議案第88号】	つくば市建築関係手数料条例の一部を改正する条例について	原案可決	【決議案第1号】	更なる安全・安心な新型コロナウイルスワクチンの接種体制を求める決議	原案可決
【議案第89号】	つくば市介護保険条例の一部を改正する条例について	原案可決			
【議案第90号】	つくば市印鑑条例の一部を改正する条例について	原案可決			
【議案第91号】	つくば市文化芸術基本条例の一部を改正する条例について	原案可決			
【議案第92号】	つくば市景観条例の一部を改正する条例について	原案可決			
【議案第93号】	つくば市の地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決			
【議案第94号】	つくば市市営住宅条例の一部を改正する条例について	原案可決			
【議案第95号】	財産の取得について	原案可決			

議決結果などの詳細は右のQRコードからご覧いただけます。



議案の審議状況と議決結果



請願一覧



意見書・決議一覧

令和3年6月定例会議員賛否一覧 (議案などに対して賛否の分かれたものを、議員からの申し出に基づき掲載しています。)

議案等番号	つくば自民党・新しい風					自民党政清クラブ					つくば・市民ネットワーク			公明党つくば			創生クラブ			日本共産党つくば市議団		つ	清	山	新			
	長塚俊宏	黒田健祐	神谷大蔵	小久保貴史	五頭泰誠	ヘイズジョン	久保谷孝夫	宮本達也	木村修寿	塚本洋二	飯岡宏之	鈴木富士雄	川村直子	あさのえくこ	小森谷さやか	皆川幸枝	山本美和	浜中勝美	小野泰宏	小村政文	中村重雄					高野文男	山中真弓	橋本佳子
議案第82号	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	×
請願3第4号-1	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○
請願3第4号-2	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○
意見書案第5号	×	×	×	-	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	退	○	○

※「○」は賛成、「×」は反対、「退」は退席。議長は可否同数の場合または特別多数議決の場合以外は表決に加わりません。

※ 会派名(議席番号順) つ=つくばチェンジチャレンジ 清=清郷会 山=山中八策の会 新=新社会党つくば



質問に

回答します

皆さまから頂いた質問への回答の一部を掲載します。

YouTubeで配信している動画の中でも質問に回答しているものもあります。

全ての質問と回答はつくば市議会のホームページに掲載しています。



回答はこちら

※回答は4月23日現在のものです。

Q (仮称) みどりの南小・中学校建設に伴う学区・義務教育学校の大規模化に伴う対応についてどのように考えていますか。

A この問題については、学区審議会で審議が行われ、みどりの中央についてはそのままみどりの義務教育学校へ通うことになりました。しかし、みどりの義務教育学校の大規模化が解消されないため、新たな学校建設が検討されることになりそうです。



Q 高校の新設についてどのように考えていますか。

A 市では人口増加が続いておらず、自家用車での送迎ではなく、公共交通などで通学可能な県立高校が足りないという不満の声は年々高まっています。この現状に対し、令和元年9月にはつくば市議会として県に改善の意見書を提出していましたが、県としては、県立高校新設や改善の意向が示されないままとなっています。また、市としても4年続けて公立高校新設の要望は行っています。一方、市では小中学校やその他児童施設などの整備がまだまだ続き、市立高校を造ることは難しいと考えているようです。

Q 高エネ研南側の土地については、総合運動公園の計画が持ち上がったところまでさかのぼって、どのような経緯があったのか、どのような経緯が行われたのか、もっと市民に分かりやすく報告してほしいです。

A 平成27年2月に、基本計画が取りまとめられました。その事業用地について、市議会の議決を経て、高エネ研南側の土地約46畝をUR都市機構から66億円で購入、平成27年8月に行われた住民投票で投票者の8割以上が反対したことから、市は総合運動公園基本計画を白紙撤回し、取得した土地は未利用地となりました。その後、市は、市内ニーズ調査や民間利活用の意向を確認するためのサウンディング型市場調査を実施し、令和元年8月に、土地全体利用を前提とした民間主導の事業提案が1社からあり、大規模商業施設の誘致・老健施設・緑地施設の敷設・物流・倉庫施設などの内容で土地取得予定金額40億円との提示がありました。それに対しさまざまな意見が出たことから、市議会として、令和元年9月に「高エネ研南側未利用地に関する調査特別委員会」を設置し、土地利用の方向性について、4回の委員会および3回の勉強会を開催し、さまざまな議論、検討を進めてきました。

令和2年の議会改選後も引き続き検討を進めており、当該土地の利活用の早期解決に向け検討を進めていきます。

※6月25日、高エネ研南側未利用地活用に関する提言書を市に提出しました。(6ページ参照)

Q 空き地の適正管理と条例についてお聞かせください。

A 空き地の雑草管理については、「つくば市空き地除草条例」により管理されています。空き地の管理は、区域によって手順がやや異なります。住民の方から問い合わせや依頼があった場合、市街化区域では職員が現場確認を行い、写真を撮ります。土地の所有者に写真とともに除草依頼の通知を出します。すぐに対応されない場合は、通知を2〜3回送付します。通知書には、除草を行う期限を記載し、その通知にも従わない場合は、勧告書を送付します。なおおむねこの段階までで除草を行ってくれることがほとんどです。勧告にも従わない場合は、命令書を通知します。市街化調整区域では、通知書までしか出せないそうです。草刈り道具を持っていない、近隣に居住していない場合は、市から業者を紹介してもらえます。

Q 中心市街地についてどのような議論がなされていますか。

A 検討状況は以下のとおりです。

- ・令和2年12月4日 全員協議会にて、市長よりつくば中心市街地における取り組み状況、センタービルリニューアル計画について報告
 - ・12月25日 12月議会において、つくば中心市街地まちづくり調査特別委員会(議長を除く全議員で構成)設置
 - ・12月25日 全員協議会にて、つくばセンタービルに関するオープンハウス途中経過、つくば中心市街地におけるエリアマネジメント団体の設立について報告
 - ・令和3年1月18日 つくばセンタービルリニューアルについて
 - ・1月27日 つくばセンタービルリニューアル、エリアマネジメント団体の設立について
 - ・2月3日 日本エスコンからクレオ再生計画について聴取
 - ・2月18日 つくばセンター、クレオの現地視察
 - ・3月4日 全員協議会にて、エリアマネジメント団体の役員紹介
 - ・3月15日 つくばセンタービルリニューアルのスケジュールについて説明
- 詳細については、ホームページにて公開しています。その後も随時委員会を開き検討を進めています。

Q つくば市のIT化の取り組みについてお聞かせください。

A つくば市では現在つくば市デジタル・ガバメント推進本部を設置し、IT化推進に取り組んでいるところです。住民票の請求、転出届の他、印鑑登録証明書の請求など市民窓口業務関連で法令の縛りを受けないものに関して順次取り組みを進めているところです。

Q 道路のメンテナンスについてどのような計画がありますか。

A 既存の道路については平成26〜27年に路面調査を行い、悪化が著しい箇所から順次改修を行っています。とはいえ、市道総延長は約3400キロメートルです。今後も順次工事を行うにはまだまだ時間がかかるという状況です。

